



114
A 1437
2



大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

外國ノ國名ノ記スルニ支那ノ文字ノ用ユルハ
甚ク謂ハレナキナリ支那人ハ自由ノ辭ヲ以
テ其音ヲ通シ得ルニ付キ支那ノ辭ヲ填スベシ
日本人ノ如キハ其字ヲ以テ其音ヲ表シ得ル能
ハズ故ニ國名ハ皆ナ日本ノ假名ヲ以テ命シ
リ
商法ノ語ハ世人用ヒ慣レ、所ナレモ大ニ不
合ノ辭ナリ

三月二十九日起稿 四月二十日マテ銀行実験論閱
四月二十九日竣功 此ニ從事スルニ甚ク稀ナリ

第二ノ書翰

幣 ハチ モ子

紙幣 ハチ モ子

ソールテレンク 法幣

大 義 省

貨幣若クハ正金スベシ一若クハコイン

通用金若クハ通幣

金貨 コノレド コイン

銀貨 シレブル

コムモチチー 貨物

直直段 及ヒ物價 同意

財政ノ履歷

第二ノ書翰

幣ノ説、性質、功用及ヒ幣ヨリ發顯スル事件

幣ノ性質、功用及ヒ價、ヒテ明瞭ニ理解スルノ最モ至當ナル方法ハ第一ニ商品、必需品若クハ栄耀品ノ價ハ如何ニシテ生スルヤノ理ヲ瞭解スルヲ第二既ニ此理ヲ瞭解スルヲ得ハ即チ幣ト稱スル一箇格別ナル商品ノ價ノ原由ヲ明拆スル事第三總テ他ノ商品ノ價ヒノ秤量トシテ何故ニ幣ヲ用ユルヤ何ユヘニ幣ハ此ノ秤量ヲ為スニ最モ好ノ適當セルヤノ理ヲ推究スルヲ第四幣ヲ以テ價ヒノ秤量ト為スノ原由ヲ混同スレトキ必ズ發見スベキノ事件ヲ明細ニ領

行スベキ一第五幣ハ其末需ニ應ジテ自然ニ國民ノ
間ニ分布シ今日互ニ相交通スレ文明社交ノ中ニハ
其價ヒ常ニ一樣ノ平均ヲ保テレ所以ノ情状ヲ追浙
スレ一第六假幣(真幣ト區別スレ為メニ)ノ性質及ヒ
假幣ト真幣トヲ混淆スレ乎或ハ假幣ヲ以テ真幣ヲ
代用スレキ必ズ發頭スベキノ成果ヲ研究シ理解ス
レ一是ナリ以上ノ諸件ハ輿人ノ耳ニハ甚ク深奥不
曉ノモノ、如ク思ハレベシ又自ラ商業若クハ幣ノ扱
フヲ以テ其業ト為セル人ニスラ難解ト謂ハレ、一
ナク然レモ此事ヤ十分ニ理解シ得ベキモノナリ既
ニ十分ニ理解シ得ベキモノ則人智ヲ以テ拘シ得ベ
キモノハ亦メ之ヲ他人ニ通知スレヲ得ベキモノナ
リ右モ其人自ラ研磨之ヲ學ヒ之ヲ究メ初緒ノ深奥

晦澁ナルカ為メニ其鐵心ヲ挫ク一ナク敢テ怠慢ス
レ一ナキニ非ラサレバ其全鵠ヲ得レ能ハハレベシ
此事柄ヲ研究センニハ先ツ第一ニ價ヒト、功用則功
能トノ間ニ緊要ノ區別ヲ立テサレベカラズ物ハ其
功用ノ割合ヲ以テ價ヒアルニ非ラス譬へハ空氣ノ
如シ之ヲナクンバ一箇ノ生活物モ其生ヲ保ツ能ハ
サレ程ノ功用アルモ乃チ些ノ價ヒアル一ナシ是レ
造化主々萬物ニ給與シテ之ヲ得レニ勞力ヲ要セ
レハナリ故ニ余ハ物品ノ性質ニ於テ價ノ存スレ
レヲ見ス其存スレ所常ニ他ニアル一ヲ知レナリ他
トハ何ゾヤ物品ヲ得ンダ為メニ必要ナル勞力ノ總
計是ナリ夫ノ價ヒノ真ノ秤量ナルモノハ實ニ此ノ
勞力ノ總計ニ在テ存スレモノナリ其勞力ヲ用ユレ

道一ナラス或ヒハ石炭鑛鐵ノ如キ生世須要ノ物
品ヲ得ンカ為メニ勞カヲ費スコアリ或ヒハ生世須
要ノ支需ヲ満メスベキ切用トハ全ク性質ヲ異ニセ
レ奢侈珍愛若クハ頑弄ノ物品ヲ得ンカ為メニ勞カ
スレトアリ故ニ金剛石及ヒ他ノ貴重ナル寶石ノ如
キハ之ヲ得ンカ為メニ莫大ノ勞カヲ要スルユヘニ
之ヲ得テ些ノ利益ナキモ其價ヒタル極メテ驚クヘ
キモノナリ而シテ其勞カヲ吝マテ所以ノ企望ヲ
問フニ唯々此寶石ノ美ナルヨリ人類獨斷ノ思想ヲ
下シテ之ヲ貴重スルニ基スルナリ故ニ物品ヲ得ン
カ為メニ費ス所ノ勞カノ總計ハ常ニ價ヒテ序理ス
ルモノニシテ真ニ價ヒノ存スル所ハ種々ノ形状種
種ノ度量ニテ累積勞カナルトヲ記スヘキトナリ

余今幣ト稱スレ一箇格別ナル貨物ニ就テ講説ス
ベキノ地ニ来レリ余其價ノ基ク所ノ推究スレニ亦
ノ他ノ貨物ニ異ナレトナク其實質ヲ精製シ其形状
ヲ鑄造スレノ勞カヨリ其價ノ生スレトヲ發見スル
ナリ幣ハ貴金屬則テ金ト銀トヨリ鑄造セラレモ
ノナリ然レ其價ノ歸スル所何所ニ在レヤ蓋シ此
ノ二金ハ甚メ吝番ノ手ヲ以テ宇内ニ配賦セラレシ
ニ付キ多量ノ勉勞ヲ費マテバ之ヲ得ル能ハズ
故ニ其價ノ歸スル所亦ノ勞カノ總計ノ外カナラズ
レナリ今ヤ金ハ銀ヨリ二十倍ノ勞カヲ費サレバ
其同量ヲ得ル能ハテニ付キ其價ハ銀ニ二十倍セ
ト若シ金ノ産生當今ニ二倍シ之ヲ得ルノ勞カ一半
ヲ減ズレトキハ其價ハ減少シ銀ヨリ其價ヒノ高キ

一惟十倍ニ至ルベ
抑モ幣ノ價アル所以ノモノ
ハ之ヲ製スル実質ノ價アルカ為メナリ故ニ幣ノ價
ハ他ノ貨物ニ異ナラス他ノ貨物ニ價ヲ生スルノ原
由ハ則チ幣ニ價ヲ生スルノ理由ナリ
勞力ノ價ヒノ理由ニ此ノ如シ然レニ茲ニ一種
異例ノ價ヒアリ此異例ノ價ハ假幣ノ稟質ヲ講究ス
ルノ際十分ニ瞭解スルヲ得ベキニ付キ余ハ茲ニ
簡易ニ分解スルヲ以テ至當ナリト信スルナリ心學
ニ謂ヘルトアリ緊要ノ物品ト接著シテ分ツベカラ
下レモノハ是ホク緊要ノモノナリト此格言延ヒテ
用ユベシ今マ經濟學ニ就テ此意ヲ説カバ價ヒアル
貨物ヲ助ケ若クハ請求シ得ルノ貨物ハ亦ノ價ルナ
リ云フ可キ乎此事ヤ實ニ確証スベキ格言アリ然

レ假幣ノ性質ノ講究スル際余ハ彼ノ真理ノ此
貨物ニ於テ適當セハルモノタルヲ發見セハルア
ラス懐フニ憂ヒナケレノ信ハ其性質ニ價ヲ唯
他ノ有價品ヲ請求シ得ベキノ証紙ニ存スルモノナ
リ彼ノ証券手形借用証文若クハ為替手形ノ如キ假
令ヒ姓名ノ手記シ調印セシ後ト雖モ其價辨ハ則チ
多少ノ疑團ヲ存スルモノナリ故ニ此價ハ其性質疑
ハシキユヘニ實價アルモノニ比スルニ不慥カニシ
テ動搖變遷甚クシク或ハ破滅ノ形ニ立チ至ルヲナ
キニ非ラス此代用ノ價ヲ俗稱呼ニ付テハ余ハ後
章ニ空リテ悉クニ述ブベシ蓋シ此ノ証紙ハ自己ニ
細銖ノ價ヲ唯之ヲ所持スル片ハ將來ニ至リテ
實ニ價アル貨物ヲ得シトク信用ニ存スルニ付キ

将来ノ價ト云ハシコノ適當ノ名稱ナレベケレ代用
價ノ語ハ適セスト思フナリ
既ニ幣ノ價ヒテ論スル余ハ期セズシテ其功用ヲ
説クベキノ講場ニ来レベシ此功用ニ付テ精密ノ尋
思ヲ望ムトハ前章ニ異ナルトナシ此目的ヲ達スル
ニ就テ主トスベキトハ貨幣ノ功用ハ物價ヲ秤量ス
ルトニシテ此外全ク功用ナシト云フモ可ナルベシ
トノ事ナ心裏ニ存スベキトナリ幣ハ實ニ人ト人ト
ノ間ニ行ハル、貨物ノ交易ヲ便利ニスベシ然レモ是
レ自己ニ價ヒノ秤量ノ性ヲ存シ與人ノ信ヲ受クル
カ為メニ之ヲ為ストナリ價ノ秤量ナル文字ハ類似
語法ノ語ニシテ文議上ニ適當セザルモノナリト想
像スルトナリ幣ハ實ニ文議上ニ價ノ秤量ナリ

其價ヲ量レヤ測量師ノ鍾ヲ以テノ坪ノ廣狭ヲ量レ
カ如ク呉服高ノ曲尺ヲ以テ衣ノ長短ヲ量レカ如シ
是レ實ニ幣ノ又議上ノ功能アリ若シ此功用ヲシテ
十分ニ勤カシノ下トキハ詐欺其間ニ生ズベシ此
事ヤ余ノ後章ニ於テ悉クニ論述セント欲スル所ナ
リ今マ余ノ將ニ辨解スヘキノ問題ハ如何ニシテ幣
ハ價ヒテ秤量スルノ具トナリシヤノ文字ニ歸スヘ
シト信スレナリ
譯者云貨幣ノ功用ハ更ニ一ナリ交易ノ媒助是ナ
リ是レ當今經濟學士ノ周ク許ル所ナリ
幣ノ價ハ變異ナキモノナレニ付キ他物ノ價ヲ秤量
スレトナリ抑モ此變異ナキ所以ハ造化主カ貴金屬
ノ以テ地上ノ諸方ニ配布スルト殆ント一様等平ニ

シテ彼是不同ノ少キヨリ突然其量ノ益スナク突
然其量ノ減スルヲ見シ而シテ之ヲ得ント欲ス
ルヤ甚ク難シ若シ之ヲ礦山ヨリ掘出スル費用ヲ通
用ノ價ヒト均一スルニ至ルトキハ之ヲ掘出ノ勞力
ハ直チニ止ムベシ今日ノ勢ヒ漸次ニ累積シテ其價
ヒ漸ク下リ遂ニ其業ノ止ム時ニ至ルヘシ然レモ年
年消耗碎磨スル所亦ノ漸次ナルヲ以テ常ニ通用セ
ル金額ノ如キハ實ニ相異ナルヲ甚ク寡シ而シテ世
界ノ通商ニ於テ此貴金ヲ要スルノ末需モ突然ニ縮
張スレテ寡キヲ以テ常ニ一樣等平ノ價ヲ保テリ是
ヲ以テ幣ノ價ヒ他ノ變轉多キ貨物ノ價ヒヲ秤量
スヘキ元ト極メト成レニ至シナリ若シ商品一度ニ
産出シテ其分量甚ク夥多トナルトキハ幣ノ少量ヲ

以テ其多量ト文力スヘシ若シ又少ナキトキハ多量
ノ幣ヲ以テ其少量ト交易スレテナリ蓋シ商品ノ多
キヤ呼ンテ之ヲ物價ノ廉ト稱シ其寡キヤ之ヲ物價
ノ貴ト稱ス廉貴ノ二様斯ク發生スルモノハ幣ニ於
テ些ノ變異ヲノシテ商品ノ分量及ヒ價ノ多少アル
カ為メナリ
斯ク幣ハ總額及ヒ價ニ於テ絶テ變異スレテナキガ
為メニ比較ノ元ト極メト成リテ他物ノ價ヲ秤量ス
レニ於テ其正當ヲ得レテナリ故ニ直段ノ高抵スルニ
當テ其高トナリ低トナル所以ノモノハ貨物ノ末需
ニ起ル補給ノ多キト補給ニ起ラズ末需ノ多キニ目
レテナリ然レモ若シ天為若シクハ人造ノ原由アリ
テ流通セル幣ノ總額ヲ増減スレテアルトキハ余ハ

是マテ前見セサレ所ノ一事件ノ新タニ發頭シ其感
動ヲ受クルモノナシテ其腦ヲ傷マシムルコトアル
ヲ信スレナリ若シ一國若クハ數國若クハ萬國一般
ノ上ニ於テ幣ノ總額突達ニ増スコトアラハ物價ノ直
段ハ沸騰スレコトナリ又之ニ及シテ突達ニ其分量
減少スレコトアラハ貨物ノ直段必ラス下落スレコトナ
リ此等ノ事件ハ其形迹秘蘊ニシテ人ノシテ如何ニ
此沸騰下落ハ發シ来リシヤヲ知ラシムルコトナシ譬
ハ一產出多キ壙山ノ發見シ一國ノ貴金屬ノ總額突
然膨脹セリト假想セヨ爾時此金屬ヲ得シカ為メニ
勞カスレノ人ハ以前程ノ勞費ヲ要セザルニ付キ其
價ハ所持人ノ囊裏ニ於テ既ニ減少シ且ツ前ヨリ多
額ヲ得易キニ付已レノ嗜好セシ物品ト交易スレニ

當テ多量ヲ與フレコトヲ各マホクナリ是レ則チ物價
沸騰ノ端緒ナリ是則チ商品ノ總額及ヒ價ノ増減ア
レコトナクシテ但全銀ヲ得ルノ方法ニ於テ費用ヲ減
セシユヘニ幣ノ總計及ヒ價ニ於テ變治ナレヨリ尙
出シタルレコトナリ物價ノ騰貴スレニ當テヤ人々將未
ノ好價ヲ見込ミテ商品ヲ買込ムコトナリ故ニ益々物
價ノ騰貴ヲ促カスコトナリ數派ノ小流相集テ遂ニ一
流ノ洪河ヲ成セルト同一ニテ數種ノ物價騰貴ヨリ
遂ニ波及シテ諸物價ノ騰貴ヲ来ラスコトナリ尋常ノ
見聞ヲ以テハ諸商品ノ直段一般ニ騰貴セリト見做
スヘシ然レモ其實ニ至ッテハ大ニ異ナリ價ノ秤量
ナレ幣ノ價安キコトナリ見ヨ夫レ尺度ノ短ナルモノ
ノ以テ物ヲ測レハ其物ノ尺度必ス長カレヘシ此レ

同一ノ道理ニテ金銀ノ同量ヲ以テ以前ヨリ些少
ノ商品ヲ得多量ノ金銀ヲ以テ同一ノ商品ヲ得ル
ナリ幣ノ總額突時ニ減少セシニ於テハ全ク之ノ反
對ノ事情ノ起スヘシ幣ノ總額寡シ故ニ其價ヲシ人
ノ之ヲ使用スル寡シ故ニ物價安シ而シテ漸次ニ商
品ノ直段一般ニ下落スヘシ然レモ此ノ下落ハ前ノ
騰貴ノ如ク唯形状ノ上ノミ唯幣ノ多少ヨリ現出
スル所ニシテ商品ノ多少ヨリ起ルニアラス夫ノ尺
度ノ長テルモノヲ以テ物ノ測レハ其物短テカ如
ク見ユヘシ故ニ金銀ノ同量ヲ以テ多量ノ商品ヲ測
リ少量ノ金銀ヲ以テ同量ノ商品ヲ測ラハ物價ノ低
下ヲ致スヘシ然レモ流通幣ノ總額俄カニ増減スレ
バ古來甚ノ罕レナリ假令ヒ之ノアルモ人ヲシテ感

覺セシムルヲ寡シ故ニ幣ノ總額 於テ變化起リ貨
物ニ起ラテハ下ヲ見レバ難シ一般ニ物價ノ高低ヲ
以テ稱シ價ノ秤量則チ幣ニ於テ變化ノ起リシトニ
就テ人其思想ヲ回ラストナシ故ニ其變化ノ成果ハ
如何ニ起リシヤ何時ニ起リシヤヲ見レバ不注意人
ノ眼光ニ着スヘキトニ非ラサルナリ
前條述ブレ所ノ詳説ハ注意アル讀者ヲシテ事實ノ
辨明スルノ知見ヲ備ヘシムヘシ此一點ニ於テ暗明
ナル光輝ヲ點セン為メニ幣ノ分量及ヒ價ニ於テ遠
然ナル縮張ノ発スルニ際レ商品殊ニ小麥ノ直段ニ
於テ現出スル所ノ變化ノ指シスルヲ最モ簡便ニシ
テ理解シ易カレヘシ蓋シ小品ノ直段ハ價ノ秤量即
チ幣ニ於テ變化ナキモ常ニ尋低スルモノアレモ概

スルニ一般ノ商品ノ直段殊ニ小麦ノ直段ニ於テ永
久ノ變化起レテ夫レ直段トハ某國總テノ幣ト
其商口トノ割合ヲ表スルモノナリ而シテ變化ノ商
品ニ起リシト想見シ得ヘキノ事情アラサルイキハ
其原由ハ則チ幣ニ歸セテレヘカラス
柳モ小麦ノ直段ハ程ニシテ四季共ニ一定セテレ
ズ之ヲ一年ニ平均スルニ殆ント同一ナルナリ是
レ其ノ分量ノ多クシテ其用供ノ洽子キニ因レテナ
リ概スルニ凡テノ商品殊ニ小麦ノ直段ニ感動スル
原由ノ如キハ數多ク原由アレニ非ラテレナリ
貴金屬ノ價ト(勿論幣ノ價ヲモ含ム)ニ於テ嘗テ現出
セシ所非常ノ變動ハ夫ノ紀元千四百九十二年コロ
ンブス氏ノアメリカ州ヲ發見セレ後殆ント三十年

間ニ於テ發生シ来リシ所ノ一事具ナリヘンリ一八
世ノ治ハ紀元千五百九年ニ始マレリ彼ノ治世未タ
二十年ヲテレニスベイン人ハメキシコ及ヒペレ
一ヲ蕩平セリ而シテポルトガルハブラジレニ轉戦
シテ遂ニ之ヲ平定セリ此時ヨリ金銀ハ蕩々歐洲ニ
流入シテ第十六回及ヒ第十七回百年ニ於テ最モ甚
シ故ニ幣ノ流通日ニ増殖シ全歐洲ニ於テ物價ノ騰
貴ヲ生シ来リ人ニ計算ニ苦メリ而シテヘンリ一
治世ノ間英國ニ於テモ大ニ其餘流ヲ受ケメリ是レ
則チ數年間ニシテ流通セル貴金屬ノ膨脹セルヲ
世又承認セシ第一期ナリ然レモ當時ノ人民ニハ
全景晦澁ニシテ其道理ヲ解スル能ハス英國ニ於テ
物價ノ騰貴ハ專賣ノ致ス所アリト云ヒ或ヒハ占賣

ニ根ナスト云ヒ蓄財ノ甚シキニ困ルト云ヒ農業ノ
 度外ニ多キニ困ルト云ヘリ皆ナ真正ノ道理ヲ知ル
 モ非ラス真正ノ道理ハ則チノキシコペル
 ラジレノ金鑛ノ發見セシニ因リテ金銀ノ價ニ下落
 セシナリ此交易媒助品ノ遽然増加セシ成果ヲ求
 ノン為メニ余ハ此事件ノ前後ノ物價ニ就テ余ノ鳥
 目ノ見ヲ述ヘント欲スレナリアタムスミス氏ノ富
 國論ヨリ左ノ一表ヲ採華セリ余ハ先ツ小麥ノ直
 ヲ論ス

全	一四九七	全	同	九	二
全	一四五三	全	同	八	五
紀元一四二三年ヨリ一四五年迄平均	一五六〇	全	同	一〇	七
				ホント	マンズ
				シレリング	

全 一五六〇 全 同 七 五
 全 一五九五 全 同 一〇 〇
 全 一六三七 全 同 二 三
 茲ニ於テ余ハ千五百六十年ヨリ千六百零一年マテ
 四十年間ニ於テ小麥ノ直段ハ五倍登貴セシヲ知
 レナリ此年間米麥ノ數稀少ナルニ非ラス歸スレ
 ハペレ一及ヒメキシコヨリ貴金ノ俄カニ注入セシ
 ナリ
 同シ成果ノ諸商品ノ直段ニ於テ發生セシヲ記セ
 ンカ為メニ余ハトレードノ氏ノ「エボラキユム」ヨリ左
 ノ一表ヲ採華シテ茲ニ記載ス

物貨表
 千三百九十三年ヨリ相場
 千七百三十三年ヨリ相場

他種犢肉	良種犢肉	踈製モットン	良製モットン	同牝牛	スコット牛肉	第二ノ牛肉	精良ノ牛肉	白葡萄酒	別製カララット日量	弱性エール日量	強性麥酒 一カロン	磅 トンス
0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
1	2	1	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0
6	6	6	8	0	0	0	8	6	8	1	0	0
他種犢肉	良種犢肉	踈製モットン	良モットン	同牝肉	スコット牛肉	第二ノ牛肉	精良ノ牛肉	赤葡萄酒	最上カララット日量	弱性エール日量	強性麥酒 一カロン	磅 トンス
0	1	1	1	1	4	8	9	0	0	0	0	0
5	6	0	1	0	4	0	1	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

小羊肉	肥大豚	小豚	畢凡ヲ切リタル鶏	鶏	肥鷲	鳩十二羽	鷓	小鴨
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	3	3	0	0	0	0	0	0
8	4	0	4	5	4	3	5	1
小羊肉	肥大豚	小豚	畢凡ヲ切タル鶏	鶏	肥鷲	鳩十二羽	鷓	小鴨
0	2	2	0	0	0	0	0	0
3	1	0	1	0	2	1	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0

右ノ一表ニ於テ種々ノ關稅アリテ輸入品ノ直段ニ
 不
 シト云テ可クハ概スルニ此ノ一表ハ誤謬ナ
 ヤドノ朝ヨルクニ在リシ頃ニシテアサイス俵ノ

集會ノ官ヨリ稅ヲ課シタルニ付キ甚メ高貴ナリキ
是レソノ主意ハ物價ヲ高メ占賣ヲ妨ゲントノ意ニ
出シタリ抑モ占商ノ業ノレ富有ノ洽子ヲシテ商人
ノ數少ノ且ツ富メル時ニハ容易ニ行ハレ得レリナ
リ
右ノ如ク論辨シ来レトキハ當今五州ノ内チ相交通
スレ國ミニ於テハ幣ノ價ト常ニ平均ヲ保ツモノニ
シテ萬一國ニ於テ其總額増如スレトキハ速カニ
他國ニ溢流スルノ實蹟アルトク熟知スヘシ此事ヤ
甚メ明細ナリ譬ヘハスペインノ如キハ千五百二十
五年ペレノ國ニ平蕪セシヨリ金銀ノ輻輳スル大
ニ甚シ斯ノ金銀ノ多量アルヨリ通用金ノ總額ヲ増
シ一度一スペインノ商品及ヒスペインニ於テ費用

スヘキ物品ノ直段ヲシテ他國ヨリ格外ニ登貴セシ
メタリ此事情ノ起リシヨリ二種ノ事件直ニ發出セ
シモノアリ第一外國商人ハスペインニ貨物ヲ運輸
シ之ヲ金銀ニ交換シ之ヲ自國ニ齎歸スルヲ以テ大
利アルトテ發見セリ第二スペインノ商人ハ自國ノ
金銀ヲ歐洲近隣ノ國ニ運輸スルニ於テ大利アルト
テ發見セリ何トナレハ外國ニ於テハ自國ヨリ廉價
ノ物品ヲ購ヒ得ヘキヲ以テナリ斯クスペイン及ヒ
ポルトガルノ邦中ニ當テ注入シタル金銀ハ凡テ歐
州ニ散布シテ剩ス所ナシ是ニ於テ乎見レハ幣
ノ多量ヲ所持スルモノハ如何ニ之ヲ阻停セント務ム
レトモ常ニ貨物ノ輸入多クシテ其價ノ等平ニ止リ
比隣ノ國ニト物價平均ノ保ツマテニ金銀流出シテ

己マ下ルノ新ク幣ノ平均ノ末ムルノ原理ハ則チ
國ノ間ニ交易ノ運輸ノシテ阻碍ナク周流セ
ルノナリ今モ一國ヨリ他國ニ貨物ヲ運輸シ
テ而シテ彼國ニ於テ同價ノ貨物ヲ購ヒ歸ラサレト
キハ彼ノ國ニ於テ貨幣ヲ輸出セサレヘカラス其基
シキニ於テハ國中全ク空乏シ流通ノ源ヲ壅塞シ事
物ノ混蕩ノ釀シ来ラスヘシ故ニ國ノ間ニ交易シ
テ最モ利益アラシムルニハ各國共ニ商品ノ同量ノ
高ノ有セサレヘカラス若シ然レニ於テハ外國ニ幣
ノ送レモノハ外國ヨリ幣ヲ受ケヘキ證各ナル為替
手形ヲ以テ之ヲ償フヘシ此手形ノ交易ヲ以テ各國
ノ間ニ行ハレ、負債ノ仕拂ヒハ金銀ヲ送レ下ナク
シテ巧ニ皆濟セラレヘシ斯ク此文易ノ一關ヲシ

テ滑カニ運営セシメント欲スレニハ輸出輸入ノ總
額各國共ニ同一ナラサレヘカラス若シ然ラサレニ
於テハ為替相場ノ方向必ス輸入多キノ國ニ逆對シ
必ス輸出多キノ國ノ保蔽スヘシ如何トナレハ一國
ニ於テハ差引茂高文ノ金銀ヲ以テ之ヲ他國ニ償ナ
レヘカラス他國ニ於テハ其償ヲ得テレヘカラス
ノ事情アレハナリ余ヤ後章ニ至リテ此事情ヨリシ
發生スル所ハ國ニ於テ幣ノ總額ヲ序理シ及ヒ交
易ノ事務ヲ管督スレ美法ヲ明瞭ニ會得スレト是ナ
譯者曰ク本文國ノ交易ヲシテ最モ利益アラシ
ムルハ各國共ニ同量ノ商品ヲ有セサレヘカラス
云々ノ文章ハ大ニ經濟ノ旨ニ違ヘレカ如シト若

シ此ヲ以テ真理ニ違スト為セハ天下万国何レカ
同量ノ商品ヲ有スレモノノ何レノ國々利益ニキ
交易ヲ為スヲ得ンヤ且ツ前條幣ハ商業一様ニ世
界ニ周流スト云ヒ而シテ此章ニ至リ一國定メ流
通ノ源ヲ壅塞スレノ語アリ殊ニ慘ムヘキナリ
余ハ今回ノ各論ニ於テ講究スヘキ結局ノ論柄ナレ
假幣ノ性質及ヒ之ヨリ發出スル事件ノ論場ニ逼著
セリ假幣ノ一語ニ於テ余ハ紙類若クハ其他自己ニ
於テ実價ナク唯ノ將來ニ至リテ必ス同額ノ真幣ヲ
求メ得ヘシト之ヲ發行スル者ヲ信憑スルノ厚キヨ
リ發生スレ所ノ煩ヲ解スルヲアリ夫ノ各種ノ為換
手形ノ如キハ世間之ヲ幣ノ以テ稱スト雖モ真正ノ
語法ヲ用ヒ来レトキハ皆ナ之ヲ此假幣ノ一種類ト

確言セザレヘタラズ今マ手形ヲ流通セシムモノ
ノ見レニ人々其証ヲ以テ最初ノ振出人及ヒ兼諾
人ノ保証ニ加フトモ手ヨリ手ニ轉スレ實ニ僅ニ
ナレノミ多額ノ手形ノ如キニ至リテハ人々安意之
ノ幣トシテ所持スレトナシ然リトモ為換手形ノ邦
國ニ便利ナレトヲ熟知セヨリ人手ノ間ニ往來シ
テ保証ノ増減小價ナキ約束手形ヲ發行スレト頌ス
レニ至レリ余ノ假幣ノ流通ト稱スレモノ實ニ此事
ニシテ此ヨリ發見スレ所ノ成跡ハ余將ニ今ニ論辨
セント欲スレモノナリ
假幣ハ二種ニ別タレタリ所持人ノ需メニ應シテ金
若クハ銀ノ貨幣ヲ受ケ取リ得レトヲ信シテ而シテ
幣トシ流通スレモノ之ヲ兌換假幣ト言フ國法ヲ以

テ法幣ト定ムレヨリ発行人ノ信憑シ損失ハ之ヲ所
持スレモノニ帰セサレヘシトレテ而シテ幣ト流
通スレモノ之ヲ不換假幣ト言フ此ノ種類ノ証各殊
ニ不換假幣ヲ公許シ真幣ト代ラシムレニ當
人ノ之ヲ兼諾シテ貨幣同様之ヲ受授スレヲ見レニ此
等ノ人ハ自然ノ精神ノ混蕩セリヤト疑ハレヘシ然
レ凡能ク其實事ヲ推究スレニ人ハ平常格別ノ顧慮
モナク知ラス知ラス事ヲ行フモノナリ各種ノ紙幣
ノ如キモ之ヲ発行スレ者ヲ信スレヨリモ他人ノ故
障ナク負債ノ償却貨物ノ購求等ニ於テ受授スヘシ
ト推量スレヨリ流通スレモノナレヘシ若シ此ノ推
量ノハ心中ニ浸透セサレニ於テハ此假幣ノ仕出人
人民マ政府マレ此假幣ハ其根據ナキモノト言ツ

テ可ナリ之ノ約言スレニ人ノ紙幣ノ受ケ取レヤ之
ヲ蓄積セントノ意アルテシ暫時モ之ヲ保持スレ
ヲ望マサレナリ其流通スレ所以ノモノハ他人ノ之
ヲ拒マサレトノ推量スレニ因レナリ幣ニシテ如此
根據ニ基ツクモノハ大ニ正路ニ違フトハ言ハスレ
テ明クナレヘシ其間ニ損害セシテ久シク行ハレ
レトハ人ノ自ラ施為スレ所ニ疎ク暫時ノ小利小便
利ニ迷ヒ操節ナクモ正理ノ存スレ所ニ負クトテ證
スレモノナリ
假幣則テ紙幣ノ發行シ金銀假幣ノ流通高ク膨脹セ
シムレニ當テ尅頭スレ所ノ事件ニ孰テ先ツ注意ス
ヘキノ要訣最モ緊要ノ一點ハ假幣其信用ヲ全ス
レノ間ハ金銀貨幣ノ同額ヲ増加セレト同一ノ事蹟

ナレハ是ナリ若シ信月ノ盛ナレニ於テハ兌換紙幣
マレ不換紙幣マレ發生レ所ノ結果ハ一ナリ結果
ハ別テ流通セル幣ノ全額ノ價ノ降り貨物ノ直段ノ
随テ騰貴スレハ是ナリ故ニ其降レモノハ特ニ假幣
ニ非ラス金ナリ銀ナリ他ノ金属ナリ凡テノ幣、皆
ク價ヲ下スヘシ斯ク物價ノ登貴スルヤ必ス續出ス
ヘキノ事件ハ貨物ノ輸入非常ニ多キヲナリ紙幣ノ
為メニ輸入多キトキハ必定災害多シ殊ニ其紙幣應
需兌換紙幣ナレトキハ不換紙幣ノ時ヨリモ災害多
キヲナリ其發起スレ所以ハ左ノ如シ
紙幣ヲ發行スレ者ハ從テ金銀ヲ受ケ取ラサルヘシ
必ス他ノ目的ニ使用スレハ多カレヘシ若シ金銀ト
紙幣トノ交換ナラハ何人カ其間ニ於テ利ヲ占ムラ

得レハ壁ヘハ銀行ノ勘定所ニ金銀ヲ持參セヨ其代
リニ銀行紙幣ヲ受ケ取レヨ此ノ行為ハ銀行ニ利ナ
ク得意先キニ利ナシ得意先キ將テ何ヲ苦シテ如
此キ無益ノ行為ヲ為ンヤ常ニ銀行ノ紙幣ヲ發行
スレ所為ノ者ハ商人ノ為メニ為換手形ノ割引スレ
ナリ政府ノ為メニ出納寮手形若クハ他ノ証各ノ抵
当トシテ之ヲ貸シ付クヘナリ要スレニ同額ノ貨幣
ハ銀行ニ入ラテレナリ故ニ尋常其業ヲ営ムニ於テ
ハ銀行ハ其發行紙幣ノ交換ヲ望マレハ際其凡テ
棉ヒ濟スヘキノ金銀準備ヲ常ニ所持セサレハ
リ若シ之ヲ備ヘンレ欲セハ其費用ハ其利益ヲ減ス
レニ非ラサレハ其利益ヲ減スヘシサレハ人ニ紙
幣ヲ以テ需シ次第金銀ノ交換シ得ヘキモノト信セ

ン兌換紙幣ト身做シ此信用ヲ以テ能ク世間ニ流通
スル者ナレニ於テハ之ヲ発行スルモノハ常ニ準備
金ヲ以テ應シ難キ程ノ餘計ノ紙幣一度ニ来ルノ恐
レナキ能ハス此ノ危難ヤ歲月ヲ経ルノ際必ス起
モノニシテ輸入多キノ時ニハ其起ルヤ必スヘシ今
マ其源申ヲ尋メルニ為替ノ方向其國ニ逆對スレニ
付キ金銀ヲ以テ輸出輸入ノ差ヲ償ハサレヘカラス
ス而シテ金銀ヲ得ルノ手段ハ銀行紙幣ヲ買テ之ヲ
銀行ニ取り付クルコノ最モ簡易ノ方法ナルニ付キ
此景況又シテ引キ續クトキハ銀行ノ閉鎖ヲ引キ出
スノ外々ノ道ナシ故ニ他ニ原因ヲクモ唯テ此一原
目ヲ以テスルモ金銀兌換紙幣ヲ発行スルトキハ非
常ニ謹慎持重ヲ旨トセサレニ際シ大額ノ紙幣ヲ以

テ一時ニ交換ヲ望ムレナハ自ラ身代ヲ破フルノ基
トナリ且ツ金銀貨幣ヲ輸出セシムルニ目テ國ヲシ
テ一貨幣ナキニモラシムルコトアリ
不換紙幣ノ発行ヲ以テ此危難ハ容易ニ逃クルヲ得
ヘシト雖モ其害ヤ即チ他所ニ於テ發出スヘシ若シ
不換紙幣ノ増加スルニ於テハ國ノ通用金ハ膨脹レ
テ直段ノ高騰ヲ醸シ輸入ノ超越ヲ来テシ為替ノ不
利益ヲ生シ金銀ハ蕩々外國ニ去テ歸ラス紙幣ハ依
然トシテ國中ニ残レノ哀ムヘキ成跡ヲ現スヘシ蓋
シ不換紙幣ノ害ヤ其向フ處前者ト異ナリ若シ金銀
稀少ニ成レトキハ之ノ外國ニ輸送セント欲スルモ
ノハ多少ノ増打歩ヲ私カニ拂ハサレヘカラス此事
情ニ至テ貨幣ト紙幣トノ間ニ大差ヲ生スヘシ若シ

其差甚多シキニ至ルキハ閩國ノ恐慌ハ一度ニ発
出シ紙幣全ク信用ト分認シテ通用シ難キニ至ルヘ
○不換紙幣ノ流通スルノ際貨幣ノ跡ヲ絶ツノ道
理ニ付テハ猶ホ解明ヲ要スルノ一元目アリ國ノ道
通幣ハ重ニ紙幣ナルヲ以テ金銀ハ銀行ニ求テモ平
等ノ直段ニ於テ交換スヘカラス故ニ金銀地金ノ直
段ヲ登貴セシムルニ付キ本國ヨリ外國ニ宛トル本
國手形ノ直段ヲ登貴シ本國ニ宛テタル外國手形ヲ
低下セシムルモノナリ其道理ハ左ノ如シ金銀ヲ要
スルモノハ之ヲ流通ノ内ニ求メ難キニ付キ之ヲ購
買セサルヘカラス故ニ金銀ノ直段登ル外國ニ宛テ
タル手形ヲ要スルモノハ之ヲ買テニ紙幣ノ以テス
ルニ付キ外國ヨリ金銀ヲ受取得ヘキノ手形ヲ所持

シテ之ヲ販賣スルニハ同額ノ金銀ヲ買ヒ得ヘキ
丈ケノ紙幣ヲ要スヘシ故ニ此事情ニ立テ至ルトキ
ハ貨幣ヲ所持スルモノハ私ニ之ヲ溶解シテ之ヲ賣
リ若クハ之ヲ以テ外國品ヲ購求シ若クハ外國ニ宛
テタル為替手形ヲ買フヘシ其地ニ於テ幣トシテ用
ユルハ大ニ損失アリ何トナレハ幣ノ形チニ於テハ
紙幣ト同格ニ用ヒサレヘカラス故ニ貨幣ノ其形ヲ
溶解シ壺ノ中ニ隱退スルテ外國ニ流失スルカ跡ヲ
流通上ニ絶ツトナリ故ニ商業ヲ壅塞スル危難ト紙
幣ノ信用ノ墜棄スルノ害ハ量レヘカラス我邦亦上
十二年間此ノ不換假幣流通セリ當時空想忘舉利ヲ
射ラント企ツルモノ續々踵ヲ接スルノ形跡ハ後章
悉クニ説明セント欲スル所ナリ

今マ吾人ハ此事情ヲ詳究スル為ノニ要用ナル論理
ヲ既ニ熟知シ得ノリ一般ニ價ノ生スル原由ト特別
ニ幣ノ傷ヒヲ生スルノ原由價ノ秤量ト成テ幣ノ切
用アル性質價ノ秤量ト成リテ人間社交ニ要用ナル
性質ヲ混蕩スルトキ発出スル事件幣ハ世界ニ自己
ノ分布シ相ヒ交通スル諸國ニ於テ價ヒノ平均ヲ保
ツト假幣ヲ以テ貴金屬ノ実價ヲレ幣ト競通セシム
ルトキ發生スルノ事情ヲ記載セリ今マヤ余ハ幣ニ
就テ當ニ述フヘキノ凡テノ述ヘタリ抑モ假幣即チ
紙幣ノ性ヲ論スルニ付テ奇絶ノ誤解甚ク多シ余ハ
此ノ談話ノ際漸次ニ設スヘシ而シテ余ハ今マ之ヲ
談スルノ前先ッ公債ト稱スルモノヲ講究スルノ一
書ヲ呈シ暫ク余ノ目ヲ是ニ歸セント欲スルナリ

然リ而シテ猶ホ一事ノ諸君ニ告クヘキアリ通用金
ト稱シテ手ヨリ手ニ流通スル所ノ幣ト人民ノ囊裏
ニ閑居シ流通セサレ幣トノ間ニ別アルナリ是ナリ諸
君善ク記スヘシ直段ニ閑居スルモノハ獨リ通用セ
ル幣ニ止マレト閑居隠退セル幣ノ如キハ毫モ關
係ナキモノナリ故ニ閑居隠退セル幣ノ餘リ多
量ニシテ流通セル幣ノ餘リ少量ナルトアリ此等ノ
事件ハ人ノ商業及ヒ他ノ職業ニ其資本ヲ却スル
妨ケ若クハ恐レシムルトキハ必ス發現スルモノナ
リ譬ヘハ一百ノ租稅非常ニ重クシテ上級ノ後テ人
民ノ手ニ存スルノ貨幣カ其費用ノ貨物ヲ購求スル
為メニ十分ナラサレノ場合ニ於テハ此貨幣ヲ所持
スルモノハ利益多クハシ然レトキハ巨商大賈ハ

其資本ノ商業農業ニ即スヲ止メ之ヲ貯蓄スル
ヲ務ムヘシ故ニ鎖金家及ヒ金貨ノ利餘金日ニ増ス
トキハ國民ハ漸ニ貧窮ニ趣クカ如キ形狀アリ當今
英國ノ如キハ則チ是ナリ凡テ公債ノ利子及ヒ歳入
ノ金額多クシテ人民ノ勞酬ヲ大ニ之ニ吸尽シ其人
民ノ手ニ存スルモノヲ以テ十分ナル幣ヲ得ル能ハ
ス其費用スル貨物ヲ十分ニ拂フ能ハナラシムル國
ニ於テハ必ス前條等ノ事件ノ発出スルヲナリ
今マ此區別ヲ明瞭ニ空解シタルニ甘キ國民ノ名ヲ
以テ約定セル公債ノ主意其性質及ヒ之ヨリ發現ス
ルノ事件ニ余カ講究ノ方向ヲ歸セント欲スルナリ

